

教研をもっとよく知る

Q&A

Q₁ どんな先生が教えているのですか？

A₁

教研の先生は「超一流」
指導技術と熱意のある自慢の講師陣です

すべての生徒の成績を伸ばしてこそ、超一流の先生です。独自の解法技術で生徒を引き込み、飽きさせないパフォーマンス力を発揮します。しかし、決してパフォーマンスだけには頼りません。定着させるために小テストを行い、問題演習にも十分時間をかけます。結果を出せる先生とは、派手さと地味さその両方を常に兼ね備えた存在なのです。「よくわかった」で終わらせない、「できるようになった」と実感させる、そんな授業をお約束します。

Q₂ 質問にはチューターが対応するのですか？

A₂

先生が直接質問に答えます
「質問行列」はありません

講師室はオープンスペースで質問しやすい環境です。また、多くの授業で「演習授業」があり、演習時間に質問することもできます。

Q₃

授業は「予習」が必要ですか？

A₃

予習は不要！！

必要なのはしっかり復習すること！！

先生が一方的に説明する…いわゆる「一方通行授業」であれば予習が必須になります。あらかじめ知っていることを前提にすれば、先生は大量の情報を短時間で伝えることができるからです。しかし予習をせずに「一方通行授業」を受けると、その情報量の多さに圧倒され、内容を整理できないまま終わってしまうことも少なくありません。

一方、教研の授業はその進め方が違います。導入から丁寧に説明し、授業中に問題を解かせ、その解説に重点を置きます。多くの情報を詰め込むのではなく、必要な情報を厳選し、それを確実に身につけることを重視します。指導に自信があるので、厳選した問題で結果を出すことができるのです。

教研が大事にしているのは「予習」ではなく「復習（問題の直し）」です。

Q₄ 授業進度は速いですか？

A₄

進度は驚くほどゆっくりで、説明は丁寧です！
「聞いてわかる授業」を体感してください！

高校に進学すると多くの生徒が戸惑うこと。それは「覚えることがこんなにも多いのか」ということです。学校や予備校の授業では、その膨大な情報を限られた時間で伝えようとするため、どうしてもペースが速く説明中心の授業になりがちです。

教研の授業はそこに重点を置きません。必要な情報を厳選します。情報量を減らしても結果を出せるのは、最短で解ける解法、どの問題にも対応できる万能の解法、参考書では身につけられない解法を伝授するからです。情報を厳選した分、説明に時間をかけることができます。よって、進度は驚くほどゆっくりで、聞いて理解できる授業です。

中学生の頃感じていた「話を聞いて理解できる授業」を、もう一度体感してみませんか。多くの情報を一度に浴びても、学力は伸びません。大切なのは、理解できる形で整理された知識を、確実に身につけることです。

Q5

「演習」という授業がありますが、これは何ですか？

A5

授業の復習のために、「演習授業」で類題を解きます！
入試問題も扱うのでモチベーションアップ間違いなし！

演習授業があるのは次の講座です。

- ①数学 I A・II BC・I A II BC・III ②英語 III・IV ③地歴公民 ④映像授業
- ⑤化学基礎・生物基礎

「授業の復習をする」言葉にするのは簡単ですが、実際にそれを正しく、継続的に行っている生徒は殆どいないといってよいでしょう。いつ、何を、どの順番で、どこまでやるのか、そこにはプロの明確な指示が不可欠です。多くの予備校では、演習はほとんど行われません。行われたとしても、「自宅でやるもの」という前提のもと、生徒任せにしているのが現実です。しかし、それで本当に力が伸びるのでしょうか。教研は、本来自宅で行うはずの演習を、あえて授業として、しかも無料（指定講座を受講すれば無料です）で徹底的に行います。

演習授業では、「何を解くべきか」「理解できていないのはどこか」「どこまで到達すれば良いか」そのすべてを、授業と完全に連動させて管理します。特に歴史は多くの予備校では「授業を受けて終わり」になりがちな教科です。知識は聞いただけでは定着しません。問題に解答して初めて得点につながるのです。教研はその「解答する場」を提供します。さらに必要と判断すれば、補習も積極的に実施します。これは結果を出すために当然のことです。

さらに、この演習を指導するのは学生チューターではありません。超一流の指導者が授業から演習まで一貫して指導します。教研の生徒が伸びる理由は明確です。

それは演習や補習が、他のどこよりも圧倒的に充実しているからです。

Q6 授業を欠席したらどうなりますか？

A6

欠席した授業は録画されています。よって後日、同じ授業を視聴することができます。

大学受験指導の授業は内容が濃く、1回の欠席がその後に大きく影響します。集団授業を欠席した場合、録画授業で出席時と同じ授業を受講することができます。

Q7 塾内の模擬試験は実施しますか？

A7

はい、実施します。
実施回数は以下のとおりです。

学校の成績だけでは自分の実力は図れません。また受験に向けてのモチベーションも上がりません。偏差値と志望校判定で早い時期から受験の意識を持たせます。特に高1・2生も早い時期からマーク模試を行い、共通テストを意識したカリキュラムを導入しています。

	記述模試	マーク模試
高1	3回	1回
高2	3回	1回
高3/既卒	3回	2回

Q₈

講習や受験前の特別な講座はありますか？

A₈

以下のような特別講座があります

	内容	対象
季節講習	春期講習（3月末～4月上旬） 夏期講習（7月後半～8月末）※8月授業はありません 冬期講習（12月末～1月上旬）	全学年
英検	第1回（6月頃） 第2回（10月） ※当会は検定の準会場です ※対象級数に関してはお問合せください	全学年
英検対策講座	集団・個人	全学年
共通テスト対策	10月以降（英語/数学ⅠA/数学ⅡBC/物理/化学/共通テスト模試）	高3/既卒

※詳しくは開講前に案内を発行します。

※「共通テスト模試」は本番を想定して、文系日程、理系日程に分けて実施します。予備校などで行われる「一日で終わらせる強行スケジュール」ではありません。

講師紹介



Takayanagi Eigo

高柳 英護

Subject : 物理/数学/化学
Univ : 東京理科大
Career : 大手予備校 (映像系含)
Hobby : car collection
(foreign only)

結果を出す！

これができる稀有なプロ講師

教研所属の専任講師。その実力は教研にとどまらず、大手予備校でも活躍し、高く評価されています。数学・物理・化学—理系3教科すべてにおいて難関大学合格へ導くことができる数少ない講師です。

東大・京大・東京科学大 (東工大)、早稲田・慶應、医学部など、数多くの合格実績を持ちます。20年以上に及ぶ入試問題を徹底的に分析し、生徒にとって最短・最善の解法を用意しています。難関大志望者はもちろん、偏差値 45 前後の基礎力に不安のある生徒を現役で東京理科大学へ導く指導力も持っています。どのレベルの生徒でも結果を出す——それが高柳講師の真の実力です。

理系を「本質」から理解させる。だから、時に生徒の人生を変える！

高柳講師の指導の根幹にあるのは「理系科目は本質から理解するべきだ」ということです。教科書にある公式などの丸暗記では難関大学の問題には対応できません。

教研の難関理系大合格者多くが、高柳講師の指導力のおかげと言ってよいでしょう。高柳講師は長年にわたり入試問題を分析し、毎年複数の大学の入試問題を的中させています。これは偶然ではなく、徹底した研究と指導経験の積み重ねによるものです。

実際に高柳講師の授業を受けた生徒からは、「今まで受けた授業は何だったのかと感じた」「理解するとはどういうことか、初めて分かった」といった声が聞かれます。本気で理系の大学を目指すなら高柳講師の授業を受けてください。人生が変わった——そう感じる生徒が多くいます。決して大げさではありません。



Iwafune Ami

岩船 亜美

Subject	: 英語
Univ	: 青山学院大
Career	: 大手予備校
Hobby	: play catch/exercise

英語 4 技能を制する 本物のオールラウンダー

Reading ・ Listening ・ Speaking ・ Writing

英語 4 技能すべてを高水準で指導できる講師は決して多くありません。岩船講師はその数少ない一人です。高校英語は「基礎クラスの指導こそ難しい」と言われます。それは、一度苦手意識を持った英語を再び得意科目に変えるには、高度な技術と粘り強い指導が必要だからです。岩船講師は生徒を決して見捨てません。粘り強く、丁寧に、理解できるまで付き合います。その結果、英語を苦手としていた生徒もしっかり英語学習に取り組むようになります。上位クラスからの評価が高いのも言うまでもありません。

「できる」を実感させる授業。だから満席になる

岩船講師のリスニング指導は非常に完成度の高いものです。正確な発音に基づいて指導を行うため、英検二次試験対策をはじめとする授業は「聞き取れる耳」を育てるトレーニングです。実際に生徒がその変化を実感するため、講座はいつも満席です。

明るく親しみやすい人柄で対話も自然と弾みますが、指導に入ると内容は一転して本格的です。語彙の暗記や反復練習には妥協がなく「厳しい」との声が出るほどです。結果を出す指導に一切の迷いはありません。その実力は、多くの講師が参加する授業コンテストで最優秀講師賞を受賞していることからわかります。

英語を「なんとなく勉強する科目」で終わらせたくないなら、ぜひ一度、岩船講師の授業を体感してください。



Doi Hibiki

土井 響貴

Subject : 数学/生物
Univ : 千葉大
Hobby : play soccer(not futsal)

本質の理解にこだわり、その手順を徹底的に教え込む超熱血講師

数学と生物を中心に指導します。

「難関大に受かるためには本質の理解が必要」この信念で指導しているので、生徒は「理解できた」で終わらずに「何故これでよいのか」まで追求するようになります。「勉強の仕方がわからない」「どうすれば成績が上がるかわからない」という生徒は、土井講師の指導を受ければその悩みは一気に解決するでしょう。そして、生徒をそこまで引き上げるため、土井講師は学校生活（特に部活のこと）や日々の学習の仕方など面接で指導し、補習でモチベーションを上げています。

「本質まで理解させるためには本人の意識改革が必要」ということを熟知しているので、その指導は極めてきめ細かく、そして泥臭い。しかし、その熱量が生徒、すなわち君たちの意識を大きく変えていきます。君たちの成績は土井講師によって変わります。



Okada Takaho

岡田 岳穂

Subject : 数学/物理/化学/英語
 Univ : 東京理科大
 Hobby : cooking (all genres)

理系教科だけではない

4 か国語を操るクワドリಂಗアル講師

数学・物理・化学を専門とする理系講師で、入試問題ごとに独自の解法を研究し、最短で解答できる「型づくり」には余念がありません。

例えば「確率」なら、すべての問題に通用する解法パターンをあみ出しています。岡田講師が伝授する「型」を身につければ、参考書だけでは辿り着けない理解に達することができるでしょう。

そして、数学だけではなく理系3教科について、この「型」をあみ出していることは驚きです。

また、英語はネイティブの高いレベルで解答できます。それは幼少期から高校までを海外で過ごし、日本の教育に偏らない実践的な語彙力を身につけてきたクワドリングアル（英語を含む4か国語を操る）だからです。

「岡田先生に聞けば何でも教えてくれる」と多くの受験生が助けを求める存在で、「理科大を目指しているが、数学・物理・英語すべてを総合的に指導してほしい」こんなリクエストに応えられえる唯一の講師です。

教研独自のサービス

WEB		お子様の塾内での様子や学習状況はとても気になるものです。当会の授業の様子や課題の達成状況等は、授業毎に毎日ホームページにアップされ、24時間いつでもご覧いただけます。ご相談ご要望等の送信や、当会発行物のPDFも閲覧できます。
欠席時の授業録画		欠席した集団授業は、後日映像を視聴することができます。(要予約)
メール		事務からの通知は基本的にメールを使用します。アドレスの登録をお願いします。
総合保険の加入		生徒は総合保険に加入しています。「教室内または当会との往復途上においてけがをした」「他の生徒等に誤ってけがをさせたしまった」等は補償対象ですので、このような事故が起きた場合は速やかに当会までご連絡ください。 ※保険料は当会が負担しますが、診断書等の必要書類費用はご負担いただきます。

